

令和7年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	GPコーンクラッシャー (Great Performance Cone Crusher) による省エネ型骨材生産システム
製品種別	エネルギー負荷設備 (本体設備)
型番	GP■■■■、GP■■■■S
会社名	UBEマシナリー株式会社
本社所在地	山口県宇部市大字小串字沖ノ山1980番地
会社WEBページURL	https://www.ubemachinery.co.jp/
製品紹介ページURL	https://www.ubemachinery.co.jp/product/crusher/

製品についてのお問い合わせ先

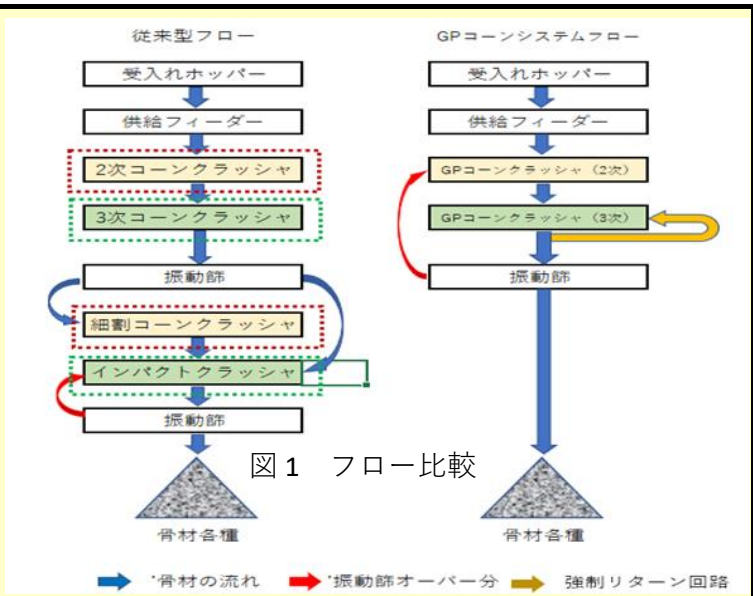
連絡先	UBEマシナリー株式会社 産機事業本部 産機営業部 社会インフラ営業Gr 住所：〒東京都港区浜松町2丁目3番8号 WTC annex 8階 TEL：03-5419-6292
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	C. 鉱業、採石業、砂利採取業	D. 建設業
導入対象となる分野・プロセス	砂利、碎石、石灰業界における骨材生産	
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	54.4	kl/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%
設備・システム当たりの想定省エネ率	31.6	%
導入事例における費用対効果（年間）	6.0	kl/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	90,000,000	円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	2,000,000	円/年

製品・システムの概要

骨材生産システムは、従来型フローのシステムが多く採用されており現在でも稼働している。当社が開発、販売しているGPコーンシステムは、従来の【2次コーンクラッシャー】【細割コーン】の2つの機能をGPコーンクラッシャー（2次）に持たせ、【3次コーンクラッシャー】【インパクトクラッシャー】の2つの機能をGPコーンクラッシャー（3次）に持たせる事により、機器台数を6台（破碎机4台、振動篩2台）から3台（破碎机2台、振動篩1台）に低減出来、夫々を接続するコンベヤ輸送機の電力削減分を含め従来型フローに比べ約30%程度の省電力を実現する。



先進性についての説明

- GPコーンクラッシャー（単体）（以下①～⑥）及びシステム（⑦～⑧）の先進的な特徴を夫々有している。（図2 GP断面図参照）
- ① ヘッドの回転数を高速化。
 - ② 高い破碎保持力（大容量油圧シリンダーの採用、油圧設定圧UP）
 - ③ 偏芯量の選定、調整が可能
 - ④ 多様なアプリケーションに対応出来るように6種類の破碎室ライナーを準備
 - ⑤ 高偏芯対応スラストベアリング ⑥6種類の多種多様なライナーを準備
 - ⑦ きめ細かい独自の制御システムを構築により安定的な運転を継続出来る。
 - ⑧ 最終骨材製品の品質を維持する為にGPコーン（3次）には強制リターン回路を追加し、20-30%の製品を強制的にGPコーン（3次）に戻し、GPコーン破碎室での粒子間破碎を促進させる。



図2 GPコーン断面図

製品・システムの概要・イメージ図

以下の骨材200 t/hでの従来システムとGPコーンシステムの比較を示す。

200/hの実績ではGPシステムの方がミルシステムに対して**33.4%**の省エネ、**76.7KL/年間**（1プラント）の燃料ベースの省エネが実現出来る。



【省エネ率、重油ベースでの削減量の計算】

- ①省エネ率の計算 **33.4%** = (1 - (343Kw (GPコーンKw) / 515Kw (従来型Kw))) * 100 (年間の運転時間を同一とした場合)
- ②GPコーン→従来型システムの年間使用電気代 515Kw * 2,000時間/年間 * 0.334 (33.4%削減) = 344,020Kwh/年間
- 重油削減量を試算 344,020Kwh/年間 * 8.64/1,000 * 0.0258 = **76.7KL/年間**

導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	砕石、砂利、石灰	対象設備・プロセス
-------	----------	-----------

以下当社が納入した150 t/hの骨材生産システムの従来型とGPコーンシステムの比較である。150 t/hの実績ではGPシステムの方がミルシステムに対して**31.6%**の省エネ、**54.4KL/年間**（1プラント）の燃料ベースの省エネが実現できた。



【省エネ率、重油ベースでの削減量の計算】

- ①省エネ率の計算 **31.6%** = (1 - (264Kw (GPコーンKw) / 386Kw (従来型Kw))) * 100 (年間の運転時間を同一とした場合)
- ②GPコーン→従来型システムの年間使用電気代 386Kw * 2,000時間/年間 * 0.316 (31.6%削減) = 243,952Kwh/年間
- 重油削減量を試算 243,952Kwh/年間 * 8.64/1,000 * 0.0258 = **54.4KL/年間**